

# V 施設管理事業

令和6年度決算 財政補足説明

## 目次

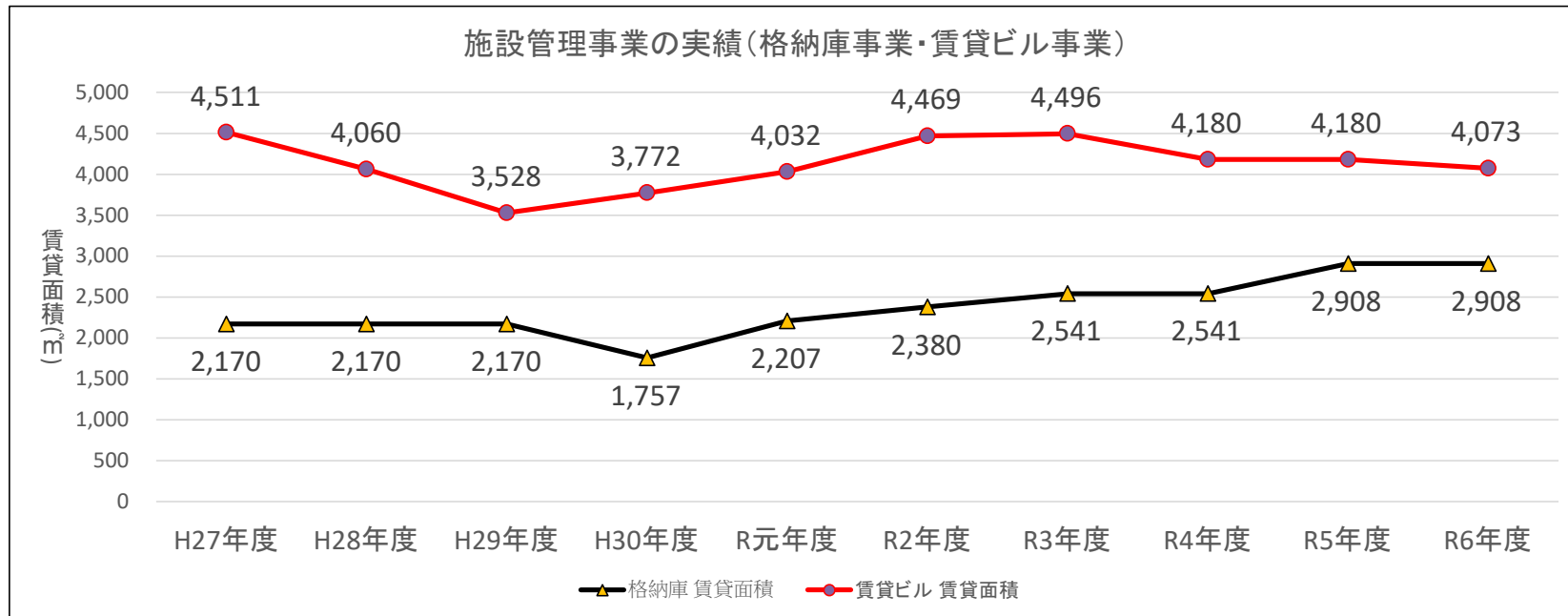
1	事業実績	46
	(事業実績(格納庫・賃借ビル)、事業実績(ゴルフ場))	
2	収支の状況	48
	(収支の状況(施設管理全体・格納庫)、収支の状況(賃借ビル・ゴルフ場))	
3	財政の状況	50
	(バランスシートの状況(事業全体)、キャッシュフローの状況(事業全体))	
4	経営指標分析	52
	(営業収益比率等の状況)	

## 施設管理事業

# 1 事業実績（格納庫・賃貸ビル）

ポイント

- ・ 賃貸ビル事業の賃貸面積は前年度に比べて2.6%の減。
- ・ 格納庫事業の賃貸面積は前年度と同様。

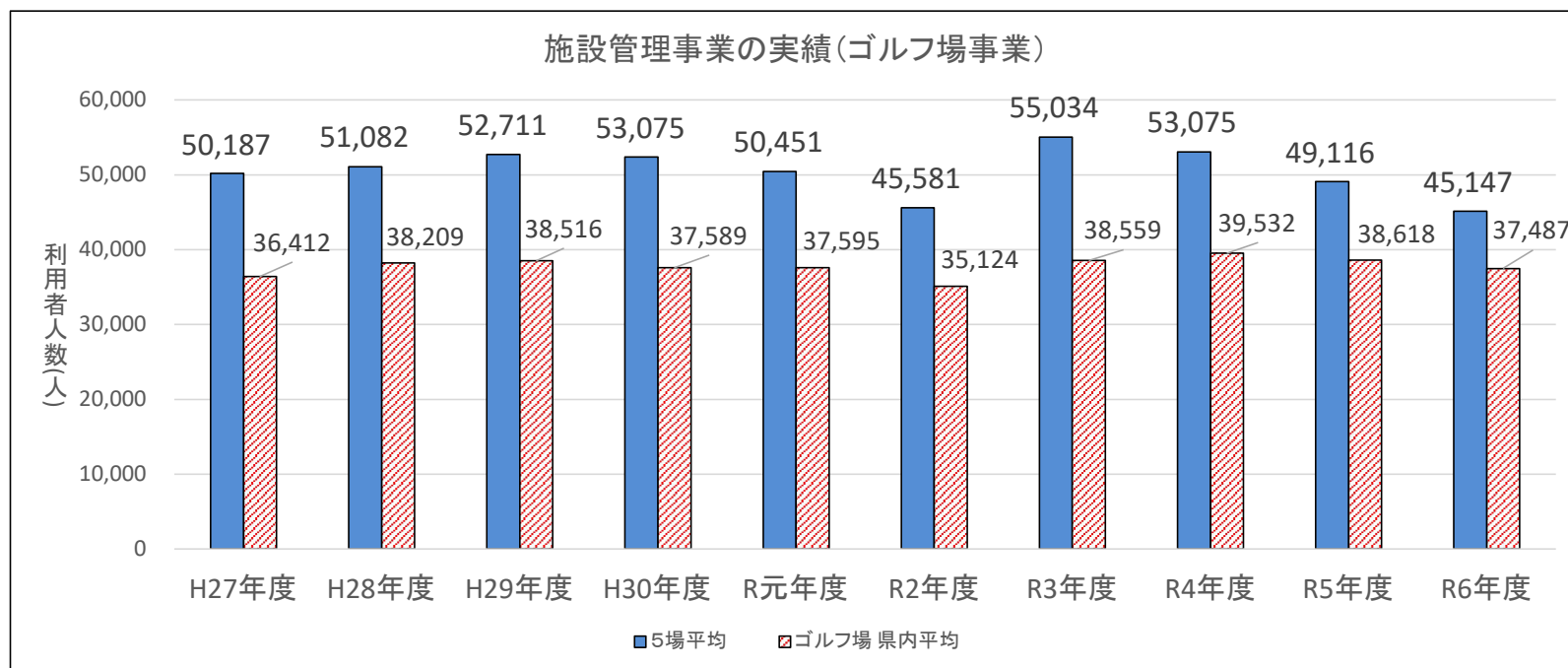


## 施設管理事業

# 1 事業実績（ゴルフ場）

ポイント

・ 4 ゴルフ場の平均は45,147人となり、板倉ゴルフ場クラブハウス建替工事等の影響から、前年度と比較して3,969人の減少。



※「5場平均（人）」について、令和2年度に上武ゴルフ場を廃止したため、令和3年度以降は、玉村、前橋、板倉、新玉村の4ゴルフ場平均となる。

## 施設管理事業

# 2 収支の状況（施設管理全体・格納庫）

ポイント

- ・事業全体では、ゴルフ場収益の減少等のため、純利益が100百万円となり、前年度と比較して減少した。
- ・格納庫事業では、格納庫管理費の減少に伴う営業費用の減少により、純利益は38百万円となった。

## 施設管理全体

損益計算書

(単位：百万円)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	対前年度増減	増減率
営業収益	654	735	823	825	681	△ 144	△ 17.5%
営業費用	701	625	579	618	586	△ 32	△ 5.2%
営業損益	△ 47	110	244	207	95	△112	△ 54.1%
経常損益	△ 43	117	238	193	91	△102	△ 52.8%
特別利益	16	11	6	0	9	9	-
特別損失	579	217	0	0	0	0	-
特別損益	△ 563	△ 206	6	0	9	9	-
純損益	△ 606	△ 89	243	193	100	△ 93	△ 48.2%

## 格納庫事業

〈損益計算書〉

(単位：百万円)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	対前年度増減	増減率
営業収益	39	42	42	44	46	2	4.5%
営業費用	23	19	17	11	9	△ 2	△ 18.2%
営業損益	17	23	25	34	38	4	11.8%
経常損益	17	23	25	34	38	4	11.8%
純損益	17	23	25	34	38	4	11.8%

## 施設管理事業

# 2 収支の状況（賃貸ビル・ゴルフ場）

ポイント

- ・賃貸ビル事業では、公社総合ビル修繕費の減少に伴い営業費用が減少したものの、営業収益が営業費用を下回る体質から、8年連続で純損失を計上した。
- ・ゴルフ場事業では、板倉ゴルフ場クラブハウス建替工事の影響等による営業収益の減少のため、純利益が69百万円となり、前年度と比較して減少した。

### 賃貸ビル事業

〈損益計算書〉

(単位：百万円)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	対前年度増減	増減率
営業収益	144	149	160	163	166	3	1.8%
営業費用	182	166	180	197	175	△ 22	△ 11.2%
営業損益	△ 38	△ 17	△ 20	△ 34	△ 9	25	△ 73.5%
経常損益	△ 34	△ 15	△ 18	△ 33	△ 7	26	△ 78.8%
純 損 益	△ 34	△ 15	△ 18	△ 33	△ 7	26	△ 78.8%

### ゴルフ場事業

〈損益計算書〉

(単位：百万円)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	対前年度増減	増減率
営業収益	470	544	622	618	468	△ 150	△ 24.3%
営業費用	496	440	382	410	402	△ 8	△ 2.0%
営業損益	△ 26	104	239	208	66	△ 142	△ 68.3%
経常損益	△ 26	109	231	192	60	△ 132	△ 68.8%
純 損 益	△ 588	△ 97	237	192	69	△ 123	△ 64.1%

### 3 バランスシートの状況（事業全体）

ポイント

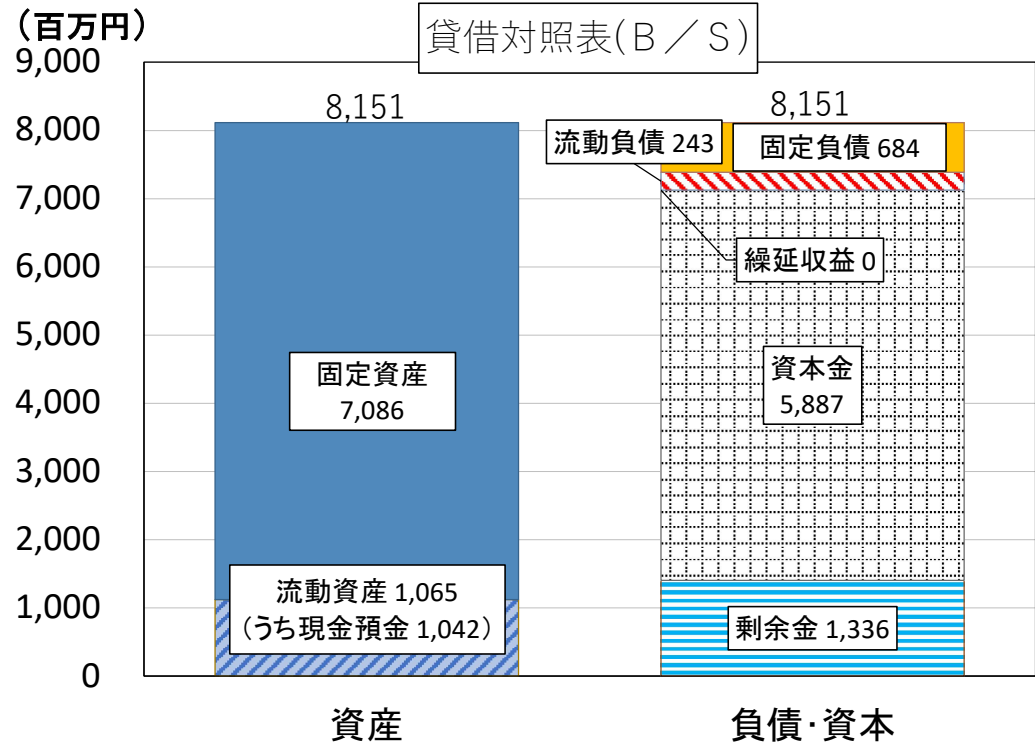
- ・ 総資本に占める負債の割合は11%程度であり、自己資本を多く有する資本構成となっている。
- ・ 現金預金については、全体では1,042百万円を確保しているが、賃貸ビルについては、62百万円不足している。

自己資本構成比率(%) =  

$$\frac{\text{繰延収益} + \text{資本金} + \text{剰余金}}{\text{総資本}} = 89\%$$

総資本：負債・資本合計

事業名	現金預金
格納庫	526
賃貸ビル	△62
ゴルフ場	578
合計	1,042



### 3 キャッシュフローの状況（事業全体）

ポイント

- ・ 現金預金の動きを示すキャッシュフローは、業務活動の減少による資金獲得の減少が建設改良等に伴う資金流出に加わり、現金預金が減少した。
- ・ 一方、建設改良に係る支出について前年度より増加しており、今後も老朽化した施設の修繕や建替で現金の支出は増加することが見込まれている。

キャッシュフローの状況

（単位：百万円）

	R5	R6	前年度差
<b>業務CF</b>	<b>387</b>	<b>190</b>	<b>△ 197</b>
うち当年度純利益	193	100	△ 93
うち未収金の増減額（△は増加）	1	△ 5	△ 6
うち未払金の増減額（△は減少）	36	△ 27	△ 63
<b>投資CF</b>	<b>△ 32</b>	<b>△ 246</b>	<b>△ 214</b>
うち投資活動	△ 32	△ 246	△ 214
<b>財務CF</b>	<b>△ 169</b>	<b>△ 18</b>	<b>151</b>
うち他会計借入金による収入	0	154	154
うち長期借入金の償還	△ 169	△ 172	△ 3
<b>資金増減額</b>	<b>186</b>	<b>△ 74</b>	<b>△ 260</b>
資金期首残高	930	1,116	186
資金期末残高	1,116	1,042	△ 74



業務活動  
に伴う資金獲得



建設改良等  
に伴う資金流出



企業債償還  
に伴う資金流出

## 4 営業収支比率等の状況

ポイント

- ・ ゴルフ場事業において、板倉ゴルフ場クラブハウス建替工事の影響等により営業収益が減少したことによって、事業全体の営業収支比率、経常収支比率が共に悪化した。
- ・ 賃貸ビル事業は、平成29年度から8年連続で営業損失及び経常損失を計上しており、各比率とも、厳しい状況にある。

分析指標		該当事業	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収益性分析	営業収支比率(%) (=営業収益/営業費用)	事業全体	93.3	117.6	142.1	133.5	116.1
		格納庫	172.9	216.7	249.8	422.0	520.1
		賃貸ビル	<b>79.2</b>	<b>89.7</b>	<b>88.7</b>	<b>82.6</b>	<b>95.0</b>
		ゴルフ場	94.8	123.7	162.5	150.6	116.4
	経常収支比率(%) (=経常収益/経常費用)	事業全体	93.8	118.7	140.4	130.4	115.5
		格納庫	172.9	216.7	249.8	422.0	520.1
		賃貸ビル	<b>81.2</b>	<b>91.2</b>	<b>89.8</b>	<b>83.4</b>	<b>96.1</b>
		ゴルフ場	94.8	124.7	159.0	144.9	114.7
	営業収益経常利益率(%) (=経常利益/営業収益)	事業全体	△6.6	15.9	28.9	23.3	13.3
		格納庫	42.2	53.8	60.0	76.3	80.8
		賃貸ビル	<b>△ 23.7</b>	<b>△ 9.8</b>	<b>△ 11.5</b>	<b>△ 20.1</b>	<b>△ 4.1</b>
		ゴルフ場	△ 5.5	20.0	37.1	31.0	12.9
	総資本経常利益率(%) (=経常利益/総資本)	事業全体	△ 0.5	1.4	2.9	2.4	1.1
		格納庫	3.6	4.9	4.9	6.3	6.5
		賃貸ビル	<b>△ 2.3</b>	<b>△ 1.0</b>	<b>△ 1.2</b>	<b>△ 2.1</b>	<b>△ 0.5</b>
		ゴルフ場	△ 0.4	1.7	3.9	3.2	1.0